

小学校外国語科において、試行錯誤しながら
表現の質を自ら高めようとする児童の育成
— 1人1台端末を活用した評価や振り返りを通して —

研究構想図

長期研修員 小林 拓美

目指す児童像

表現の質についての自分のよさや課題を捉え、次の学習の目標や具体的な方法を自ら考え、課題を解決しようとしている姿

1人1台端末を活用した

評価と
個に応じた指導

最終学習成果への評価と
個に応じた指導



児童同士の相互評価



学習成果への評価と
個に応じた指導

即時的な評価と
個に応じた指導



単元の課題

1人1台端末を活用した

振り返り

新たな課題の発見

自分の成長の確認



課題解決方法の決定

自分のよさと
課題の確認

《指導者の課題》

- ・ 評価を個に応じた指導につなげられない



《学習者の課題》

- ・ 振り返りを次の学習につなげられない

単元の課題：地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて英語で発表しよう。

言
語
活
動

評価と個に応じた指導

即時的な評価と個に応じた指導

先生がすぐ確認してくれた。動物も住む場所も食べ物も聞き取れた！レベル3に進むぞ。



端末内の会話を聞き取り、先生に解答を送信。正解なら次のレベルに挑戦。

学習成果への評価と個に応じた指導

「鯨が魚を食べる」という言い方を先生が言うように、もう一回端末のモデルを確認しよう。



端末に発表内容を録画し先生に送信。先生の返信で今後の学習の仕方を確認。

児童同士の相互評価

確かに自分の気持ちだけで考えを入れてなかった。発表の内容に加えよう。



互いに発表した後、友達の評価を端末で送信。友達からの評価を各自確認。

最終学習成果への評価と個に応じた指導

自分の考えを入れて発表できたので、Goodがもらえた。次は、もっと自分の考えを入れていきたい。



端末で作成した資料を提示し発表。友達に撮影してもらい、先生に送信。

振り返り

自分のよさと課題の確認



Whereの使い方は大丈夫。でも、Whatの使い方とくつかの動物名が難しいな。

端末の録画を振り返り、自分のよさと課題を確認し、次の学習に反映。

課題解決方法の決定



この動物の英語は何か。友達とやり取りする前に、端末で確認しよう。

課題を解決するために、端末を使い、どのような学習をするか自分で考え実行。

自分の成長の確認



録画と確認を繰り返したらWhereもWhatも上手に使えるようになったね。

端末の録画を振り返り、できるようになったことを確認。

新たな課題の発見



生き物の暮らしについて言えるようになったけど、自分の考えや気持ちを入れた方がよいな。

これまでの学習を振り返り、更によくするにはどうすればよいか検討。

成果

端末を活用した評価と振り返りを繰り返すことで、自分のよさや課題を確認し、次の学習方法を探りながら、課題を解決しようとする態度を育むことができた。その結果、英語を使い積極的に友達とやり取りするようになった。

課題

前時の振り返りを授業冒頭に見返す活動において、常に自分の課題を捉え、解決方法を考えたり、学習改善したりできるように、ワークシートを工夫するなど、前時の学習とのつながりを明確に意識させることが必要である。

提言

目的に応じて個別に学習する教材を端末内に準備し、指導者は端末を活用した評価を個に応じた指導に生かしましょう。また端末を活用した評価や振り返りを次の学習につなげ、表現の質を自ら高めようとする児童を育成していきましょう。